

井通学校文書目録ならびに略解

A List of Manuscripts of Idôri School with Comment

花 井 信

Makoto HANAI

(昭和 60 年 10 月 11 日受理)

はじめに

井通学校とは現在の豊田南小学校の前身である。溯れば 1873 年設立の豊田郡西之島学校にたどりつくが、この西之島学校は 1875 年 10 月に欧風三階建、中央に楼の配された新校舎が建立された当時、見付学校・坊中学校とならんで遠州三大学校と呼ばれた学校であった。それが、1889 年井通村が誕生したのにもない井通学校と改称され、さらに 1955 年豊田南小学校となって現在に至っている。

ここに紹介する井通学校文書は、静岡大学教育学部の藤田忠男教授が蒐集され、教育学教室に保管しておいたものである。暦めぐって藤田教授が 1986 年 3 月定年退官を迎えるにあたり、目録を作成して教授に献呈しようとするものである。

本文書の一つのベースにして、教授の作品『遠州教育史の研究』(1957 年)が上梓されていることは、地方教育史研究史上よく知られているとおりである。教授がかの書のなかで、「画一主義で一貫できた時代においては……地方現場の教育態勢が、いかに中央的な系列に柔順に服従しているかということが、つねに監視されていたわけで、地方現場は、ただに中央のための手段として考えられていたものとみて過言ではない」と述べている史的論評は、地方教育史研究の方法・態度にも及ぶ問題である。地方的史実のなかに服従と策応の動静をみてとるのか、それとも軋轢と背反の趨向をみてとるのかは、現代に生きる教育史学徒の歴史の動向を見据える眼にかかわってくる。

ところで、教育史料目録の分類については、教育史料学の未整備もあって掘るべき道標がいまだみられない。旧開智学校、あるいは山形県立博物館教育資料館の分類は⁽¹⁾数少ない試みとしてあるが、NDC 的傾向が強く、小さな一地域・一学校所有の学事文書の分類としてはあまりうまく使えないうらみが残る。ここでは、遺憾ながら、ごく便宜的な整理にとどまらざるをえない。

なお、本目録作成後は、本文書はすべて静岡大学附属図書館郷土資料室に移され、広く公開に供せられる。本格的な史的検討はそれをまつことにして、ここではごく簡単な内容紹介にとどまる略解を付しておく。

(1) 尾形典典「教育資料の分類とコード化の試み」『日本教育史研究』No. 2。

I 井通学校文書目録

〈凡例〉

1. 史料群ごとに年代順に列記している。ただし下肢番号はその限りではない。
2. 年代不記のもので、しかし内容から確定できるものについては（ ）内に明記している。
3. 表紙を欠くものは編者にて仮題をつけ、その旨を（ ）で明示している。
4. 備考欄で正式名称をとっていない場合の略記は次のとおり。修は修身，国は国語，読は読方，書は書方，習は習字，綴は綴方，算は算術，珠は珠算，史は歴史，地は地理，理は理科，裁は裁縫，図は図画，唱は唱歌，体は体操，遊は遊戯あるいは遊技，農は農業，農実（農実）は農業実習，家は家事，英は英語。また，尋1は尋常科1年・高1は高等科1年の類。
5. 備考欄を除いて、すべて編者の注記は（ ）で示している。

A	授 業 関 係	備 考
1—1	尋常科第一学年教授細目	修，国，算，遊，唱
—2	同	修，国，算，唱
—3	尋常科第二学年教授細目	修，国，綴，書，算，唱，体遊
—4	尋常科第三学年教授細目	修，国，算，図，唱，裁
—5	同	修，国，習，算，体，唱
—6	尋常科第四学年教授細目	修，国，算，体
—7	同	修，国，算，図，唱，裁
—8	尋常科第五学年教授細目	修，国，算，史，地，理，図，唱，裁
—9	尋常科第六学年教授細目	修，国，算，史，地，理，図，唱，裁
—10	高等科第一学年教授細目	修，国，綴，書，算，史，地，理，図，唱，体
—11	高等科第二学年教授細目 「尋常科第六学年」（朱書）	修，国，算，史，地，理，図，唱，体
—12	高等科第二学年教授細目 （高等科第四学年）	修，国，算，史，地，理，図，唱，体，農
2—1	教授日案及教授日誌 大正6学年度第一学期	尋4修，同読，同書，同綴，尋3算，図，唱，体
—2	同	高1修，高2修，同算，算，尋3算
—3	同	尋3修，同読，同綴，同体，高2裁，高1裁，尋6裁，尋5・6遊
—4	同	尋2修，同誌，同書，同綴，同算，同体，高2農
—5	同	尋2修，同誌，同書，同綴，同算，同体，尋3書
—6	同	尋3修，同誌，同書，同綴，同算，同唱，同体，同女唱
—7	同	尋1修，同読，同書，同算，同唱，同遊，尋5裁，高1・2家
—8	同	高2読，同書，同綴，同史，同地，同理，同図，同唱，同体，同農，同女唱

2—9	教授日案及教授日誌 大正6学年度第一学期	尋4修, 同読, 同綴, 同算, 同唱, 同体, 同裁, 尋3裁, 尋5地, 同史
—10	同	尋5修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同理, 同図, 同唱, 尋5・6体, 尋3図, 尋2男唱
—11	同	尋6修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同史, 同地, 同理, 同図, 同体
—12	同	尋1修, 同読, 同書, 同算, 同唱, 同遊, 尋4書
3—1	教授日案及教授日誌 大正6学年度第二学期	尋5修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同理, 同図, 同唱, 同体, 尋2唱, 尋3図
—2	同	尋6修, 尋4読, 同書, 同綴, 同算, 珠, 図, 唱, 体
—3	同	修, 高2修, 同算, 同珠, 尋3女算
—4	同	尋3修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同男唱, 同体, 同女唱
—5	同	尋2修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同体, 農
—6	同	尋2修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同体, 尋3書
—7	同	尋1修, 同読, 同書, 同算, 同唱, 同遊, 尋4女書, 同女図, 尋3女図
—8	同	尋6修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同史, 同地, 同理, 同図, 同体, 高1書
—9	同	高2読, 同書, 同綴, 同史, 同地, 同理, 同図, 同体, 同唱, 同農, 尋2唱
—10	同	高1読, 同綴, 同算, 同史, 同地, 同理, 同図, 唱, 体, 算, 尋6唱
—11	同	尋4修, 同読, 同綴, 同算, 同唱, 同体遊, 同裁, 尋3裁, 尋5地, 同史
4—1	教授日案及教授日誌 大正6学年度第三学期	尋4修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同図, 同唱, 同体
—2	同	尋6修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同史, 同地, 同図, 同体, 高2書
—3	同	高1読, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同理, 同図, 同唱, 同体, 尋5珠, 尋6唱
—4	同	尋5修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同理, 同図, 同唱, 同体, 尋3図, 尋2唱
—5	同	尋3修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同男唱, 同体, 同女唱
—6	同	尋2修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同体, 尋3書
—7	同	尋2修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同体, 高1農
—8	同	高1修, 高2修, 同算
—9	同	尋1修, 同読, 同書, 同算, 同唱, 同遊, 尋4珠, 尋5裁, 高1・2家

4—10	教授日案及教授日誌 大正6学年度第三学期	尋4修, 同誦, 同綴, 同算, 同体遊, 同裁, 尋3裁, 尋5史, 同地
5—1	教授日案及教授日誌 大正7学年度第一学期	尋5修, 同誦, 同綴, 同算, 同珠, 同囟, 同唱, 尋5・6女体, 尋6書, 高1珠, 尋6唱, 同地, 同史, 尋3男唱
—2	同	高1誦, 書, 綴, 理, 唱, 高1・2体, 尋5史, 同地, 同書, 高2農
—3	同	尋6修, 同誦, 同綴, 同算, 高1算, 同史, 同地, 尋6理, 高1囟, 尋6唱, 同体
—4	同	尋2修, 同誦, 同綴, 算, 体, 修, 綴, 書
—5	同	尋3修, 誦, 綴, 尋3算, 同体, 囟, 修, 尋3綴
—6	同	尋4誦, 綴, 体, 高2裁, 尋4算, 高1裁, 尋4唱, 尋3裁, 尋6裁, 尋4囟, 同修
—7	同	尋1修, 同誦, 同算, 同唱, 同遊, 尋2唱, 尋1書, 尋4珠, 尋5裁, 尋6珠
—8	同	尋1修, 同誦, 同書, 同算, 同唱, 同遊, 尋4裁, 尋2唱, 尋4囟
—9	同	高2誦, 書, 綴, 高2史, 同地, 同理, 同囟, 同唱, 高1・2女体, 尋5女理, 同男囟, 尋4女唱
6—1	教授日案及教授日誌 大正7学年第二学期	高2誦, 書, 綴, 地, 理, 高2囟, 唱, 高1・2女体, 尋5理, 同囟
—2	同	尋5修, 同誦, 同珠, 同綴, 同算, 同囟, 同唱, 同体, 尋6唱, 同史, 同地, 同理, 同男唱
—3	同	尋5修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同理, 同唱, 同体
—4	同	尋3誦, 同書, 同算, 同唱, 同体, 同男書, 尋4女裁
—5	同	尋4修, 同誦, 同綴, 同算, 同唱, 同体, 同囟, 尋6裁, 尋3裁
—6	同	尋4修, 同誦, 同綴, 同算, 同体, 尋6書, 珠, 尋6囟
—7	同	尋3男修, 同誦, 同男綴, 算, 体, 囟, 尋3女修, 同女綴
—8	同	尋1修, 同誦, 同書, 同算, 同唱, 同遊, 尋2唱, 尋5裁, 尋4囟
—9	同	尋2誦, 同算, 尋4書, 尋2書, 同体
—10	同	尋2修, 同誦, 同綴, 同算, 同綴, 同体, 同修, 同書
—11	同	高1誦, 同書, 同綴, 同理, 同唱, 同体, 尋5史, 同地, 同書, 高2農
7—1	教授日案及教授日誌 大正7学年第三期	尋5修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同理, 唱, 体, 唱

7—2	教授日案及教授日誌 大正7学年第三期	尋5修, 同読, 同綴, 同算, 同珠, 同図, 同唱, 同体, 尋6唱, 同史, 同地, 同理, 尋3唱
—3	同	高1読, 同書, 同綴, 同理, 同唱, 同体, 尋5書, 同史, 同地, 高2農
—4	同	尋3男修, 同読, 同男綴, 同算, 同体, 同図, 同女修, 同女綴
—5	同	尋4修, 同読, 同綴, 同算, 同体, 尋6書, 同珠, 同図
—6	同	尋3読, 同書, 同書, 同算, 同唱, 同体, 尋4裁
—7	同	読, 算, 尋4書, 尋2女書, 尋2男書, 体
—8	同	尋1修, 同読, 同書, 同算, 同書, 同唱, 同遊, 尋2唱, 尋4図, 尋5裁, 尋1裁
—9	同	高1修, 同算, 高2修, 同算, 同珠, 尋4珠, 尋1書
—10	同	尋2修, 同国, 同算, 同女修, 同女綴, 同体, 同綴, 尋4書
—11	同	尋6修, 同読, 同綴, 同算, 高1算, 同史, 同地, 同図, 尋6体, 高1農
8—1	教授日案及教授日誌 大正8学年第一学期	尋5修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同史, 同地, 同理, 同図, 同体, 同女図
—2	同	尋6修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同理, 同図, 同唱, 同体
—3	同	高2修, 同算, 高1修, 尋5史, 同地
—4	同	高2読, 同書, 同綴, 同史, 同地, 同理, 同唱, 同体, 同農, 同農実, 同英, 尋5唱
—5	同	尋5修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同理, 同唱, 高1農
—6	同	尋4読, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同唱, 同体, 同書, 同修, 同唱, 同裁
—7	同	尋3修, 同読, 同算, 同綴, 同書, 同体, 同唱, 尋5裁
—8	同	尋2修, 同読, 同綴, 同書, 同算, 同唱, 同体, 尋4裁
—9	同	尋1修, 同読, 同算, 同唱, 同体, 同裁, 高2裁, 高1・2家
—10	同	尋1修, 同読, 同書, 同算, 同体遊, 同唱, 尋2唱, 尋3唱, 尋6裁, 尋4唱, 同図
—11	同	尋6修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同図, 同唱, 同体
9—1	教授日案及教授日誌 大正8学年度第二学期	尋4修, 同読, 同綴, 同書, 同算, 同珠, 同唱, 尋2唱, 尋4体, 同裁
—2	同	尋3修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同図, 同体

9—3	教授日案及教授日誌 大正8学年度第二学期	高1 誦, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同理, 同唱, 同體, 尋6 理, 高2 英, 同珠
—4	同	高2 誦, 同書, 同綴, 同史, 同地, 同理, 同唱, 同體, 同農, 同農実, 同英, 尋2 唱
—5	同	尋1 修, 同誦, 同書, 同算, 同唱, 同遊, 尋4 図, 尋3 唱
—6	同	尋1 修, 同誦, 同算, 同唱, 同體遊, 同裁, 尋2 裁, 高1 家, 高2 家
—7	同	尋2 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同唱, 同體, 尋6 裁
—8	同	尋2 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同體, 尋3 図, 尋4 図
—9	同	尋3 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同體, 同唱, 尋5 裁
—10	同	高2 修, 同算, 高1 修, 尋5 史, 同地, 尋1 書
—11	同	尋6 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同図, 同唱, 同體
10—1	教授日案及教授日誌 大正8学年度第三学期	尋5 修, 同誦, 書, 綴, 尋5 算, 同理, 唱, 農実, 體
—2	同	尋6 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同理, 同図, 同唱, 同體
—3	同	尋6 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同図, 同唱, 同體
—4	同	高2 誦, 同書, 同綴, 同史, 同地, 同理, 唱, 高2 體, 同農, 同農実, 同英, 唱
—5	同	尋5 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同史, 同地, 同理, 同図, 同體
—6	同	高1 誦, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同理, 唱, 體, 英, 尋2 理, 珠
—7	同	尋2 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同體, 尋3 図, 尋4 図
—8	同	尋3 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同図, 同體
—9	同	尋3 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同唱, 同體, 尋5 裁
—10	同	尋4 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 唱, 唱, 體, 裁
—11	同	修, 尋4 誦, 書, 綴, 算, 珠, 尋4 男理, 體, 尋4 女理
—12	同	高2 算, 同修, 高1 修, 尋5 史, 同地
—13	同	尋1 修, 同誦, 同書, 同算, 同唱, 同體, 尋4 図, 同唱, 尋3 唱
—14	同	尋2 修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同唱, 同體, 尋6 裁

11—1	教授日案及教授日誌 大正9学年度第一学期	尋1修, 同読, 同書, 同算, 同唱, 同体, 尋4図, 尋2唱, 尋5裁
—2	同	尋1修, 同読, 同書, 同算, 同唱, 同体, 尋5唱, 尋6裁
—3	同	尋2修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同体, 同図
—4	同	尋2修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同唱, 同体, 尋 3唱
—5	同	高2修, 同算, 高1修, 同算, 修, 書
—6	同	尋3修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同図, 同体
—7	同	尋4修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同理, 同 唱, 同体, 尋5珠
—8	同	尋4修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同唱, 同 体, 同裁
—9	同	尋5修, 同読, 同綴, 同書, 同算, 同理, 同体, 同 図, 高1農, 尋4理
—10	同	修, 読, 書, 綴, 算, 珠, 史, 地, 理, 体, 図, 図
—11	同	尋5修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同 地, 同理, 同図, 同体, 尋6珠
—12	同	高1読, 同書, 同綴, 同史, 同地, 同理, 同唱, 同 体, 高2農, 同農実, 高1英, 尋5唱
—13	同	高2読, 同書, 同綴, 同珠, 同史, 同理, 同唱, 同 英, 高1珠, 尋5女史, 同女地
—14	同	尋6修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同史, 同地, 同 男理, 同図, 同体, 同女理
12—1	教授日案及教授日誌 大正9学年度第二学期	尋1修, 同読, 同書, 同算, 同唱, 同体, 尋5唱, 尋6裁
—2	同	尋2修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同唱, 同体, 唱, 唱
—3	同	高2修, 同算, 高1修, 同算, 尋3修, 書
—4	同	尋2修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同体, 尋4図, 尋3図
—5	同	尋3修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同図, 同体
—6	同	尋4修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同唱, 同 体, 同裁
—7	同	尋4修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同理, 同 唱, 同体, 同珠
—8	同	尋3読, 綴, 算, 珠, 体, 体, 裁, 裁, 家, 家
—9	同	尋6修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同 地, 同図, 同女唱, 同体, 同男唱
—10	同	尋5修, 同読, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同 唱, 同体, 同唱, 尋4書

12—11	教授日案及教授日誌 大正9学年度第二学期	高2誦, 同書, 同綴, 同珠, 同理, 同唱, 同体, 同農, 同英, 尋6地, 同囟
—12	同	高2誦, 同書, 同綴, 同珠, 同史, 同地, 同理, 唱, 高2体, 同英, 高1珠, 尋5史, 同地
—13	同	高1誦, 同書, 同綴, 同史, 同地, 同理, 同唱, 同体, 高2農, 同農実, 高1英, 尋5男唱
13—1	教授日案及教授日誌 大正9学年度第三学期	高1誦, 同書, 同綴, 同史, 同地, 同理, 同唱, 同体, 高2農, 同農実, 高1英, 尋5唱
—2	同	尋5修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同理, 同体, 同囟, 高1農, 尋4理
—3	同	尋1修, 同誦, 同書, 同算, 同唱, 同体, 尋5唱, 尋6裁
—4	同	尋2修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同唱, 同体, 同唱, 同囟
—5	同	尋1修, 同誦, 同書, 同算, 同唱, 同体, 尋4囟, 尋2唱, 尋5裁
—6	同	尋2修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同体, 尋3囟, 尋4囟
—7	同	高2修, 同算, 高1修, 同算, 尋1修, 書
—8	同	尋3誦, 同綴, 同算, 同体, 高1・2遊, 高1裁, 高2裁, 高1家, 高2家
—9	同	尋3修, 同誦, 同書, 同綴, 同囟, 同算, 同体
—10	同	尋4修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同理, 唱, 体, 珠
—11	同	高2誦, 同書, 同綴, 同珠, 同理, 同唱, 同体, 同農, 同農実, 同男英, 尋6女史, 尋6地, 同男囟
—12	同	尋5修, 同誦, 同綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同唱, 同体, 同唱, 同書
—13	同	尋6修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同地, 同囟, 同女唱, 同体, 同男唱
—14	同	尋5修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同史, 同地, 同理, 同囟, 同体, 同算
—15	同	高2誦, 同書, 同綴, 同珠, 同史, 同地, 同理, 同唱, 同体, 同英, 高1珠, 尋5, 史, 同地
14—1	教授日案及教授日誌 大正10学年度第一学期	尋3修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同唱, 同囟, 同体
—2	同	尋4修, 同誦, 同書, 同綴, 尋3算, 尋4体, 同囟, 同囟, 尋3囟
15—1	教授日案及教授日誌 大正10学年度第二学期	尋1修, 同誦, 同書, 同算, 同唱, 同体, 尋2唱, 尋4唱, 同裁
—2	同	尋4修, 同誦, 同書, 同綴, 尋3算, 尋4体, 同囟, 尋3囟
—3	同	尋2修, 同誦, 同書, 同綴, 同算, 同唱, 同体, 裁

16—1	教授日案及教授日誌 大正10学年度第三学期	高1農実, 尋4体, 同理, 同珠, 同算, 同綴, 同読, 同修
—2	同	尋1修, 同読, 同書, 同算, 同唱, 同体, 尋3唱, 尋5裁
—3	同	尋2修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同唱, 同体, 裁
—4	同	尋1修, 同読, 同書, 同算, 同唱, 同体, 尋2唱, 尋4唱, 同裁
—5	同	尋3修, 同読, 同綴, 同体, 高1・2体, 高1裁, 高2裁, 高1家, 高2家
—6	同	尋2修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同体, 尋3書
—7	同	尋4修, 同読, 同書, 同綴, 尋3算, 尋4体, 同図, 同男図, 尋3図
—8	同	尋5修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同珠, 同理, 体, 高1史, 同地, 尋5書
—9	同	尋6修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同女唱, 同男体, 同唱, 尋5史, 同地, 尋4理
—10	同	修, 尋6読, 書, 尋6綴, 同算, 同珠, 同史, 同地, 同理, 体, 尋6理, 同図
—11	同	尋3修, 同読, 同書, 同綴, 同算, 同唱, 同図, 同体
17	尋常科第 六学年男 算術科教授細目 昭和2年1月	
18	教案簿 昭和13年度	4月～2月, 日別の教案 (以下同種)
19—1	教案簿 (昭和14年度)	4月～3月
—14		
20—1	教案簿 昭和15年度	同, 学級経営案を含むものあり
—15		
21—1	教案簿 昭和16年度	同
—16		
22—1	授業案 高2男 (昭和17年度)	4月～7月
—2	同 高1	4月～2月
—3	同 初6	同
—4	同 初5	4月～3月
—5	同 初4男	同
—6	同 初3男	同
—7	同 初2男	4月～12月, 落丁して2月3月
—8	同 初6女	4月～2月
—9	同 初5女	4月～3月
—10	同 初4女	同
—11	同 初2女	4月～2月

22—12	授業案	初1女	4月～12月, 3月
23—1	授業案	高2男	4月～10月
—2	同	初6男	4月～3月
—3	同	初6女	同
—4	同	初5男	同
—5	同	初5女	同
—6	同	初4男	4月～1月
—7	同	初4	11月～3月
—8	同	初4女	4月～2月
—9	同	初3男	4月～3月
—10	同	初3女	同
—11	同	初2女	同
—12	同	初2女	同
—13	同	初1女	同
24	授業案	昭和19年	同
25	第二 第二	学期授業案 昭和20年度	初等科1年～高等科2年
26	研究授業批評録	昭和10年6月以降	
27	各教科指導方針	昭和16年度	
28	授業錬成会記録	昭和17年度	
29	授業錬成会記録	昭和18年度	

B	学校経営関係	備 考
1	職員会決議録第一号 明治33年度7月以降	
2	同 第二号 明治33学年以降至35学年	
3	職員会議事録 (明治40年9月～明治44年11月)	
4	職員会記録簿 自明治45年1月至大正4年3月	
5	同 自大正4年4月至大正8年3月	
6	同 自昭和8年度	
7	同 自昭和13年度以降	
8	同 昭和16年度	
9	職員会議録 昭和17年度	
10	同 昭和19年度	
11	日記 第二 尋常科6学年 大正元年9月	児童による学級日誌
12	男児学校新聞記事録 自大正元年10月至大正2年12月	
13—1	校内外訓練施設一覧 昭和9年度	13—2と同じ
—2	学校施設・訓練一覧 校外生活・指導一覧	13—1と同じ
14	看護日誌	休憩・集会時の指導日誌
15	学校職員ノ任免	

C	文書・通達類関係 (1)	備 考
1	雑文書綴込 自大正10年9月以降大正14年3月	
2	雑件 自大正10年4月至大正13年3月	
3	(雑件) 自大正12年11月至大正14年4月	尋6説, 高1理の教案あり
4	雑件 自大正13年4月至大正14年3月	
5	雑件 自大正14年4月至大正15年3月	
6	雑件綴 自大正15年4月至昭和元年	
7	雑文書綴 昭和3年度	
8	雑綴 昭和12年以降	
9	雑綴込 昭和15年度	
10	雑綴 昭和18年度	
11	雑綴 昭和19年度	
12	雑綴 昭和20年度	
13	雑綴 昭和21年度	静教組組合時報1・2あり
14	雑関係綴 昭和23年度以降	

D	文書・通達類関係 (2)	備 考
1	到達書類 明治30年7月以降至36年3月	井通村・磐田郡からの通知
2	一時ノ処分ヲ了タル往復書類 明治40学年度	
3	一時ノ処分ヲ了シタル往復書類 明治43学年度	
4	第一類例規 明治42年以降 (至大正15年)	磐田郡役所からの通牒類
5	県郡指令綴込 自明治45年1月	任地外居住・出張認可など
6	往復文書綴込 自大正13年10月 井通補習学校	実業補習学校と村・郡の間
7	役場往復文書綴込 昭和12年度	井通村からの通知類
8	役場往復綴 昭和13年度	
9	同 昭和14年度	
10	役場往復文書綴 昭和18年度	
11	役場関係綴 昭和19年度	
12	同 昭和20年度	
13	発送書類控綴込第二類 自大正6年4月至大正10年3月	
14	進達書類綴 昭和7年度 井通農業補習学校	
15	発信簿 昭和20年度	
16	第二類文書綴 自明治39年度至大正9年度	磐田郡役所からの通牒類
17	文書綴第二類 自大正10年4月至大正11年3月	
18	同 自大正11年4月至大正12年3月	
19	同 自大正12年4月至大正13年3月	
20	文書綴二類 自大正15年4月	
21	文書綴 昭和9年度	

22	文書綴	昭和10年度
23	同	昭和13年度
24	同	昭和14年度
25	同	昭和15年度
26	同	昭和16年度
27	公文書綴	昭和19年度
28	同	昭和20年度
29	同	昭和21年度
30	地方事務所関係綴	昭和20年度
31	同	昭和21年度
32	同	昭和22年 9 月以降

E	静岡県公報	備 考
1	静岡県公報 (大正15年 7 月～昭和 2 年 2 月)	
2	静岡県公報 学校関係之部	昭和 7 年度
3	静岡県公報綴 一般	昭和11年度
4	通牒 照会 静岡県公報 学事	昭和13年度
5	静岡県公報 学事	昭和15年度
6	静岡県公報	昭和16年度
7	県公報	昭和18年度
8	県公報綴	昭和19年度
9	同	昭和20年度
10	同	昭和21年度
11	静岡県公報	昭和22年度以降

F	教育会・校長会関係	備 考
1	会誌 中遠私立教育会池田支部会	明治19年11月
2	公会関係書類	明治41年 4 月
3	教育会書類	明治44年
4	教育会通知書類綴込	自大正 5 年 3 月至昭和 2 年 3 月
5	大正14年 2 月 9・10日開会 小学校長会諮問案	
6	昭和 5 年 2 月小学校長会議ニ於ケル	知事訓示要領
7	昭和 5 年 2 月小学校長会議ニ於ケル	指示注意事項
8	小 学 校 長 実業補習学校長 会議要綱	昭和 6 年 6 月 青年訓練所主事
9	小学校長会議訓示指示注意要綱	昭和10年 7 月 5・6 日 昭和11年 7 月20日
10	校長会関係書類	自昭和12年度
11	教育会関係綴	昭和14年度
12	教育会関係綴	昭和19年度

13 教育会関係綴 昭和20年度

G 戦時体制関係			備考
1	時局関係綴	昭和17年度	苧麻採集調, 戦歿軍人遺児調など 桑皮生産調, 少国民美談集の件など
2	同	昭和18年度	
3	疎開関係綴	昭和19年度	東京蒲田出雲国民学校の受入など
4	分散教育関係綴	昭和20年度	
5	動員関係綴	昭和20年度	勤労働員実施計画など
H 青少年団関係			備考
1	青少年団関係綴	昭和17年度	
2	少年団関係	昭和19年度	
3	青少年団関係綴	昭和20年度	
4	少年団関係	昭和20年度	
I 学事統計関係			備考
1	明治23年 静岡県学事年報		児童出席調査月表など報告期限の 月別一覧
2	磐田郡学事一覧表	明治32年12月	
3	磐田郡学事統計	明治35年度	
4	学事関係例規便覧		
J 進路関係			備考
1	(男子青少年ノ使用ヲ制限シ女子ヲ使用スベキ 職種)		陸海軍志願者, 満蒙義勇軍など
2	職業指導関係綴		
3	就職関係綴	昭和19年度	
K 雑			備考
1	大日本報徳学友会報(第116号～第127号)		
2	警防関係文書綴込	昭和3年以降	
3	農業関係綴		

II 略 解

井通学校文書の特色は、総数 352 点のうち、7 割の 244 点が教案で占められていることであろう。静岡県にあつては、1900 年 10 月訓令甲第 29 号「市町村立小学校長及教員職務及服務ニ関スル細則」によって、正教員は「教授細目ニ基キ教案ヲ調製スルコト」とされ、校長には「所属教員ノ調製シタル教案ヲ検閲スルコト」が定められていた。ただし実際には、この教案がなかなか作成されないところもあったようで、学務委員の巡視のさいに、教案を調製すべしとの意見を、巡視記録に書き残している事例はよくみられる。磐田郡の場合、1901 年の郡学事会において、次のような指示がなされていた。

凡ソ小学校ニ於テ教授管理訓練ノ適切周到ニシテ、之レカ統一改良ヲ図ルハ教育上最急務タルコトヲ信ス、然ルニ往々之レニ反スルモノナキコトヲ得ス、依テ学校一致毎月期日ヲ定メ又ハ臨時ニ学校職員協議会ニ於テ之レヲ討論シ、可否決シ難キ時ハ校長若クハ其ノ代理者之レヲ裁断シ、容易ニ裁断シ難キ疑問アラハ速ニ先輩者又ハ上級学校熟練家ニ質問シ、之レヲ決スルコトヲ要ス、就中教授上ニ関シテハ可成実物ヲ使用シ、且ツ教授細目及教案ノ整理ヲ欠クコトナク、殊ニ校長若シクハ其代理者ハ之レカ検閲ヲ怠ルコトナク、又検閲毎ニ必ス之レニ認印スヘシ、但本文ノ協議会ヘハ可成管理者ノ之レニ列スルコトヲ望ム、
(文書番号 D-1 の綴に所収の文書より、以下 D-1 のように記す)

教案の史的位置付けについては、稲垣忠彦氏の濃密な研究『明治教授理論史研究』があり、さらに平原春好氏の『日本教育行政研究序説』が教育課程法制的視点から問題の所在を突いており、教育内容・方法の国家的統制と画一化に、教案が最大限特用であったことは明らかにされている。磐田郡学事会の上の指示も、そうした史的総括にあてはまるといえよう。

そしてつけ加えれば、上の指示において職員会議（文中では職員協議会）の目的が陳べられていることも注目したい。職員会議の史的論究は、高野桂一氏の大著『学校経営の科学化を志向する学校内部規程の研究』を始めとする一連の仕事があり、学校長の絶対的権限の下での学校管理の統一、そのための諮問機関という把握がみられるところである。その再検証については、本文書の職員会議録の分析にまつ。

さて、以下においては、本文書の整合的な解説を展開する余裕がないので、筆者の関心に即した史料摘記にとどめたい。

1911 年 4 月から改訂国定教科書の使用が始まるが、印刷遅れのために一部教科に教科書供給の遅滞が生じた。ほかに、就学児童数の見込違いもあってか、4 月現在次のような供給不足、前年の古本使用の状況が生まれている。尋常小学修身書 3 年用の古本使用は 49 冊、4 年用が 44 冊、これは需用冊数がそれぞれ 82 冊と 88 冊であったから、いずれも半数以上の古本使用であった。またこの 4 月から国定に移行した尋常小学算術書は 3 年～6 年用はすべて供給ゼロである。小学日本歴史巻二は 59 冊中 33 冊、巻四は 27 冊中 12 冊が古本であった。同様に高等小学修身書は巻一は 72 冊中 40 冊、巻二は 59 冊中 29 冊が古本。巻三は 67 冊需用のうち 23 冊供給不足、44 冊のうち古本は 19 冊、巻四は 27 冊中 9 冊が古本。高等小学読本巻五は 67 冊需用のうち 19 冊供給不足、48 冊のうち古本が 20 冊、巻七は 27 冊中 11 冊が古本。高等小学算術書は巻三が 67 冊需用のうち 51 冊が供給不足、16 冊の全部が古本、巻四は 27 冊需用のうち 15 冊供給不足で 12 冊の全部が古本などといった状況であった。後期の 10 月に至っても、高等小学読本巻六は 66 冊（前期より 1 冊減）のうち同じく 20 冊古本、巻八は 27 冊中同じく 11 冊古本と、兄弟などが使

用した本で学習した様子があらわれている。(D-3)

さて、教科書の学習本、いわゆる虎の巻・あんちょこの類がいつの頃から出回ったのかは、学校の社会史の格好のテーマとなるだろうが、とりあえず次のような文書がある。

近来国定算術教科書ニ対シ、其解答書ヲ発行セルモノ有之候処、右等ノ解答書ヲ学校児童ニ持タシムルハ固ヨリ有害ノ儀ニ付、既往及将来トモ文部省ニ於テ其発行ヲ許諾セラルル筈無之、此等偽作ニ関スル取締方モ其筋ニアリテ夫々取運バレ居候趣ニ候モ、貴職ニ於テモカカル図書ヲ学校児童ニシテ購入スルガ如キコト無之様十分御取締相成度、尚又教科書類ノモノニシテ何々筆記帳ト称ヘ、或ハ国定教科書ニ模擬シタル出版物ヲ発売スルモノ尠カラズ、学校ニ於テ教科用書ト同一ノ取締ヲナシ、児童ニ之ガ購入ヲ強フルガ如キハ不都合ノ義ニ付相当御注意相成度、其筋ヨリ特ニ成牒ノ次第有之此段及移牒候也、(D-16)

これは 1906 年 4 月 26 日付の郡からの通牒であるが、次ののは 1912 年 5 月 13 日付のものである。

- 一、近来国定書キ方手本ノ文字ヲ拡大模写シ、其レニ白紙ヲ展ヘテ紙上ヨリ透写セシメントシ、一種草紙様ノモノヲ印刷頒布スルモノアルヤニ及聞モ、学校ニ於テ之ヲ児童ニ使用セシムルハ不都合ニ付注意ヲ要ス、
- 一、尋常小学ノ地理科ニ於テ国定教科書記載事項以外ニ涉リ当該府県等ノ地理ヲ適宜補説教授スルハ固ヨリ必要ナレトモ、之レカ為メニ特ニ一冊子ヲ編纂出版シテ之ヲ児童ニ購買セシメ、教科書同様ノ取扱ヲナサントスルモノアルヤノ聞アリ注意ヲ要ス、
- 一、小学教科書中ノ字句ヲ逐次抜萃シ之ニ訓義ヲ付シ、某々字解字引ナドト称シテ出版シ、児童ノ購買心ヲ挑発スルモノアリ、是等ハ弊害不尠ニ付、之ヲ購買セシメサル様注意ヲ要ス、(D-16)

国定教科書の権威を高めるために、その威厳を損う虞のある副読本の使用についても、厳しい監視の目が注がれていたと、言うべきであろうか。

尊厳といえば、学校管理上もっとも重大視された「御真影」と教育勅語謄本の管理について、以下の文書も目にとまる。いずれも 1915 年の郡からの通牒である。

宮城県栗原郡若柳尋常小学校ニ於テ拝戴ノ 御真影奉安所外部前面ニ 菊御紋章描出ノ件ニ付、同県知事ヨリ警保局長ヘ照会ノ処、右ハ描出セシメザル方穩当ト認ムル旨、宮内省ト協議ノ上回答相成候趣キ其筋ヨリ申越候条御了知相成度此段及通牒候也、(D-16)

御影奉置所ノ設備ハ各学校共略々完成ノ域ニ達シタルハ洵ニ慶スヘキコトニ有之候、特ニ近来記念事業トシテ多額ノ資ヲ以テ校舎外ニ奉置所ヲ特設スルモノ往々有之候ハ、一ニハ尊厳ヲ瀆サンコトヲ懼レ、一ニハ災変ノ防備ニ処セントスルノ意ニ基クモノトハ被存候得共、経営宜シキヲ得サレハ却テ尊厳ヲ失シ、又自ラ遠々シクシ奉ルコトト相成哉トモ被存候条、奉置所ハ校内森厳ナル場所ヲ択ヒ、精々莊重ナル設備ヲナシ親シク守護上ノ誠意ヲ致スコトトシ、之ヲ校舎外ニ特設スルコトハ別ニ御奨励無之様致度、依命此段及通牒候也、(同上)

勅語謄本と御真影の有している物神性にまどわされ、過度の粉飾による越権的な「神」的行事に踏み込む民衆に釘をうち、他方物神性の過度な煽動が惹起する民衆の反発を防止するために、策をめぐらす治者側の念慮があらわれている。

時代は下って、役場往復文書綴込(D-7)には、出征・帰還兵の歓送迎会についての通知がおびただしい。戦時動員に学校が利用された様子が、行政文書の量として示されている。この

綴には、給食給与の文書も綴じられており、毎週5日間、12人に対して給与の見込という。学校給食の始まりは、1889年山形県下における試みとされているが、戦時下の飢饉、農村窮乏から国庫助成が行なわれていく。本文書の1935年の報告によれば、給食の効果について、次のようにまとめられている。

- 一、顔色が非常ニヨクナリ、快活ニナリ、成績モ稍々向上シテ来タ、
- 二、身体各部ノ發育ガヨク、筋肉ガ引締ッテ来タ、
- 三、胃病風邪ニカカリ易カッタ者モ病氣欠席ガ少クナッタ、
- 四、態度ニ落付ガ出来、性質ガ満ニナッタ、(D-22)

なお、節米運動なるものが1938年から実施されていくが、翌年11月調査によると、656人中弁当持参者が483人あり、そのうち七分糯米弁当が6人、麦混食弁当が392人、薯その他の混食が1人、パン・薯類の代用食が2人となっている。(D-24)

さて、井通村国民学校への疎開児童は、1944年4月から東京の縁故疎開6名から始まり、集団疎開は東京蒲田区の出雲国民学校から児童84名、訓導3名(男1女2)を受け入れている(D-27)。詳しくはG-3に綴じられている。

最後に、中等学校入試に関する次の史料を紹介しよう。1923年12月静岡県が出した「中等学校入学試験ニ関スル件」と題する通牒である。

標記ノ件ハ近時一般ニ之カ準備ニ熱中シ、其ノ弊害渺カラス、之一ハ小学校及父兄ノ自覚セサルニヨルト雖モ、一ハ中等学校ニ於ケル入学試験方法ノ欠陥ニ起因スルヲ以テ、小学校及教員ニ対シテハ訓令ヲ以テ入学準備教育ヲ禁止シタルヲ以テ、此際中等学校入学試験ニ関シテハ左記事項ヲ厳守セシメラレ度、尚ホ中等学校教員ニ於テモ小学校教員同様、家庭等ニ於テ特ニ準備教育ニ関与スル等ノ万ナキ様指示セラレ度、此段依命及通牒、

記

一、入学試験ヲ行フニ当リテハ小学校ノ教科内容ニ基キ、極メテ平易ニシテ極メテ常識的ナル問題ヲ選定スルコト、

心性考査ノ精神ヲ加味シタル問題ヲ加フルコトヲ得、

一、入学ノ決定ニハ小学校ノ成績並ニ学校長ノ所見ヲ尊重シ、特ニ入学許可者ノ末位ヨリ数ヘテソノ全数ノ四分ノ一ニ達スル人員ノ採否ニ付テハ、特ニ之ヲ重視スルコト。

一、身体検査及口頭試問ハ慎重之ヲ行フコト、

一、入学準備教育ヲ受け受験シタル者ニ対シテハ、得点ノ二割引ヲ行フコト、(D-4)

中学校への入学志願者は、日清戦争後から急増しながらも、学校増設は少なかったことから、入学難は徐々に社会的問題化してきた。根底には上級学校の要求する学力水準と、大衆教育との開きが横たわっていたが、入学準備教育、ないし進学者を集めた学級・コース、あるいは能力別学級編成が、1900年代から学校教育の大きな問題になっていた。上の史料のなかで、訓令とあるのは、同月の静岡県訓令第33号のことであり、それは『静岡県教育史』(資料編下)に載っている。この通牒をうけて郡では、各学校に対して、入学準備教育を行なっている塾や、それを受けている児童についての調査を命じ、報告書を提出させている。

以上、略解ならぬ史料紹介をつらねてきたが、本文書が有効に活用されることを願って、筆を擱きたい。